

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# MESC TECHNICAL NEWS

No. M16C-30-9906

## M30201 グループ

### UARTモードの初期化手順に関する注意事項

#### 1. 対象品種

M30201 グループ

#### 2. 注意事項

クロック非同期形シリアルI/O(UART)モードを使用する場合、UARTi送受信モードレジスタの設定時、TxDi端子より“L”レベルの信号が出力されることがあります。この場合、通信エラー等が発生しシリアル通信が正常に行えないことがあります。

#### 3. 対策

UART送信モードレジスタ(UiMR)の値を変更する場合は以下の手順で行ってください。

- ( 1 ) UARTi送受信モードレジスタ(UiMR)に“00h”を設定する
- ( 2 ) UARTi転送速度レジスタ(UiBRG)を設定する
- ( 3 ) UARTi送信許可ビット(TE\_UiC1)を許可(“1”)にする
- ( 4 ) UARTi送信割り込み要因選択ビット(UiIRS)を送信完了(“1”)にする
- ( 5 ) UARTi送信割り込み制御レジスタ(SiTIC)に“00h”を設定する
- ( 6 ) UARTi送信バッファ(UiTB)にデータ“FFh”を設定する
- ( 7 ) UARTi送信割り込み要求待ち(初期化完了待ち)
- ( 8 ) UARTi送受信モードレジスタ(UiMR)に使用したい値を設定する

#### 4. 参考プログラム例

```
mov.b #00h, UiMR
mov.b #BAUDRATE, UiBRG
bset  TE_UiC1
bset  UiIRS
mov.b #00h, SiTIC
mov.b #0FFh, UiTB
?:    btst  IR_SiTIC
      jnc  ?-
mov.b #SIO_MODE, UiMR
```